（資料２）

第 11 回かながわ子ども・子育て支援大賞等受賞内容一覧

＜かながわ子ども・子育て支援大賞　１件＞

団体名等（所在市町村・活動地域）	活動の概要
相武台南口商店会 会長　戸津　信義 （座間市・座間市）	地元小学校の児童と商店会会員による「ひまわりクラブ」において、地域や幅広い世代の方々と交流するとともに、ひまわりの種まきから収穫に至る作業を年間を通じて体験し、収穫後は、菓子・飲料・和紙づくりなど子ども達のアイディアを活かしたひまわりの利活用や、絵画展などの活動を実施している。

＜かながわ子ども・子育て支援奨励賞　４件（事業者部門　１件、個人・団体部門　３件）＞

団体名等（所在市町村・活動地域）		活動の概要
事業者部門	株式会社ファンケル 代表取締役　社長執行役員　島田　和幸 （横浜市・神奈川県他）	特別支援学校に通う 15 歳～18 歳の生徒を対象に、社会に出る前に自信を持ち、前向きに自立していくための「身だしなみセミナー」を開催し、社会に出る前の子どもたちの不安の解消を図っている。
個人・団体部門	Sharing Caring CULTURE 代表　三坂　慶子 （横浜市・横浜市）	異なる言語や国籍を持つ者同士の協働作業を通じ、新たなものを生み出す社会を目指して、外国人親子と日本人親子が手遊びや工作を行う交流会を開催する等、外国人と日本人の家族がつながる場をつくっている。
	母と子のサロン「堀田由紀子スタジオ」 主宰　堀田　由紀子 （横浜市・横浜市）	「元気なママの笑顔が日本を元気にする」を信念に、産後間もない母親と子どもが参加する「フィットネス講座」を通して、母子の元気な生活・健康促進を応援し、産後孤立しがちな母親の不安解消を図るため、同じ境遇の仲間と繋がる交流会を開催している。
	子育て支援団体「ふわはぁと」 代表　高杉　雅紀子 （湯河原町・湯河原町他）	子ども優先の毎日を送る母親が社会との繋がりを持てるよう、子どもと一緒に楽しめるイベントを開催している。無料の託児を利用しながらマッサージやネイルの体験、子どもが店員となり仕事体験ができる「子どもショップ」などを行っている。

＜かながわ子ども・子育て支援草の根賞　３件＞

団体名等（所在市町村・活動地域）	活動の概要
アフターマーチの会 代表　丹治　春枝 （平塚市・平塚市他）	手作りの人形と触れ合い、子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらうことを目的に、地域の幼稚園、保育園、子育て支援行事等において、人形劇の公演を年 35～40 回、ボランティアで実施している。
横浜ジュニアスポーツクラブ 代表　中村　弘枝 （横浜市・横浜市）	器械運動の指導を中心に、子どもたちを見守り育てていく地域スポーツ団体。生涯スポーツのきっかけづくりや、体操を通してどんなことにもあきらめずに挑戦する態度を育てることを理念に活動を続けている。
ＮＰＯ法人　三浦半島生物多様性保全 理事長　天白　牧夫 （横須賀市・横須賀市他）	地域住民や市民団体、自治体などと連携しながら、三浦半島内の里山を中心に、里山再生・環境調査、環境教育・エコツアー、外来生物防除の３つを軸に活動し、親子に向けた環境教育の普及啓発に力を注いでいる。

＜かながわ子ども・子育て支援特別賞　１件＞

団体名等（所在市町村・活動地域）	活動の概要
虹の会 代表　吉澤　登子 （川崎市・川崎市）	「白山子ども図書館　ほんの森」を運営し、貸出・おはなし会・わらべうた等、様々な催しを展開し、本の文化に根差した多世代交流・子育て支援・生涯学習の場としてのコミュニティ作りを実践。